

折に触れ 四字熟語

NO. 68 『金蘭之契』 きんらんのけい

< 意味 > 金のように堅く、蘭のようにかぐわしい交友関係のこと。
「断金の交り」「金蘭の友」も同じです。

< 出典 > 「易経」繫辞・上傳・第1章・五

同人先號咷而後笑。子曰、君子之道、或出或處。或默或語。二人同心、其利斷金。同心之言、其臭如蘭。

読み下し：『人に同ずるに先には號咷がうたうして後には笑う。子曰く、君子の道は、或いは出でて或いは處る。或いは默もだし或いは語る。二人、心を同ずれば、其の利は金を斷つ。心を同ずるの言は、其の臭ひ蘭の如し、と。』

通 釈：「同人」の九五の爻辞に、「人々と和同するのに（この九五は同人六二と和同するものであるが、その間に九三、九四の二陽が隔てているので容易に和同できず）、先には泣き叫び、後に笑うということになる」とある。先生（孔子）がいわれるのには、君子の道というのは、あるときは出仕して朝に仕えるものであるし、あるときは退いて野に居るものでもある。あるときは沈黙して語らぬこともあるし、あるときは大いに語ることもある。君子が二人、心を和同してものごとにあたるならば、その心を同じくした堅固さは金石をも断ち切ってしまうほどのものである。この二人の君子の心を和同してのことばのかぐわしさは、蘭の香りのようである。

語 釈：「蘭」はふじばかまのことで、よい香りを発する。「契」は約束。「ちぎり」とも読む。

一 言：金シリーズ その1

「金」を目指してアスリートたちが戦ってきた平昌冬季オリンピックも2月25日に閉会したようです。たくさん名場面がありました。中でも、スピードスケート女子500メートルは、小平選手が見事金メダルに輝きましたが、同じく銀メダルに終わった、韓国の李相花との感動的なやりとりは、韓国でも『2人の抱擁「美しいフィナーレ」』と報道されたとあります。この2人の「ちぎり」こそが「金蘭之契」なのでしょう。

出典の「易経」はNO. 26でも取り上げましたが、古代中国の占いの原典です。とても難解で意味がとれないまま掲載しましたがお許し下さい。

参照文献：新釈漢文大系「易経」下 自由国民社「中国の古典名著」 岩波書店「四字熟語辞典」